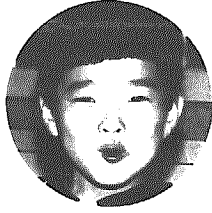


いい顔、ありがとう

楽しいおにぎり給食から (和納小学校・11月11日)

●この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係(☎0474-11-11)内線二二五(へ)ご連絡ください。写真をさしあげます。



きょうはおにぎり給食

「チビっ子たちは大喜び」

和納小学校で
学校田米の試食会



「エへ、これ、おいしいよ」と満足顔の子供たち

「エへへ、これうまいなあ」。和納小学校で先月十一日、学校田で作った米の試食会が開かれました。同校では、全校で六・五アールの水田を管理。今年のコシヒカリ二百五十七キロを収穫しました。そこで、このとれたお米をおにぎりにして給食で食べたものです。

「きょうは、みんなが学校田で作ったお米をおにぎりにした、おにぎり給食ですよ」という先生の声に、メニューを知らなかった?一年生の教室は割れんばかりの大歓声。「うん、うまい、うまい」とみんな、一年をかけた成果をおいしそうに味わっていました。



「自分たちで作ったお米はほんとうにおいしいね」と児童たち



熟年の知恵を子に伝承
紙ヒコーキ作り
スポーツ交流

「ここは、こうやって…」と男の子に紙ヒコーキ作りを指導するおじいちゃんたち。

手作りの良さを子供たちに」と先月十八日、公民館の高齢者学級生(約八十人)が岩室小学校の五年生と昔の遊具の紙ヒコーキ作りやお手玉遊びで交流しました。会場の体育館いっぱい男子は紙ヒコーキ作り、女子はお手玉の遊び方をお年寄りから習いました。最初、子供たちは道具の使い方のコツが分からず戸惑っていましたが、おじいちゃんのアドバイスでメキメキ上達。小刀を器用に使い、紙ヒコーキの胴体になる割りばしを上手に仕上げていました。交流会の終わりには男の子は製作した紙ヒコーキをステージから飛ばし、女の子はお手玉を披露。その後、ゲーム交流をしたりして、お年寄りも子供も昔ながらの遊びと心のふれあいを満喫していました。



栄地区・合併20周年記念

ふれあい運動会



「がんばれ、がんばれ」。先月22日、村民体育館で栄地区の「ふれあい運動会」が開かれ、チビっ子からお年寄りまでが大ハッスル。実はこの運動会、栄地区が旧尻引地区と田子島地区が合併して出来てから20周年を迎えた記念として企画されたもので、「特殊技術のいない楽しいスポーツ交流を」と行われ全地区民の75%に当たる約180人が参加。ゲートボールゲームや風船割り競技で交流しました。地域づくりの盛んな昨今、「地区民のコミュニケーションづくりにも一役買ったようです」と楽しい地区運動会に大満足――。



女の子はおばあちゃんからお手玉遊びを習いました。